



東俣野 2月号

東俣野小学校 学校だより

平成30年2月1日

雪の日

副校長 石渡範子

先日、4年ぶりの大雪となりました。東京都心では21cm、横浜では18cmの積雪を観測したそうです。降った翌日の登校は、路面が滑りやすくなっているため、子どもたちの安全を第一に考え、1時間遅れの登校としました。職員は、正門南門付近を早朝から雪掻きし、子どもたちを迎えました。私は、昇降口に立ち、足拭きタオルと服についた雪を払うためのタオルを持って子どもたちを出迎えました。

この大雪は、子どもたちにとって最高のプレゼントだったようで、早起きをして雪遊びをしてから登校してきた子が多かったようです。中には「かまくらを作ったよ!」という子も。



ご家庭で用意して下さったのか、靴下を二重に履いてきて、昇降口に上がるや否や靴下を一足脱いでいる子や、びしょびしょに濡れてしまった靴下を、かじかむ手で冷たさを通り越して感触がなくなってしまった足からやっとの思いではぎ取り、家から持ってきた靴下を嬉しそうに履いてから上履きに足を入れる子もいました。ランドセルに雪がのっている子、ズボンの裾の折り返しに雪が入り込んでしまっている子、雪をこっそり手の中に握りしめて来る子など様々でしたが、校舎の中に雪をいれてしまう訳にはいかないため、雪を払いのけるお手伝いをしました。さらに、担任は、子どもたちが寒い寒いといって教室に入ってくるところを、暖めていた教室で迎え入れました。こうして代休明けの23日(火)がスタートしました。

また、正門からピロティーまでのあたりを地域の方がブルドーザーを使って除雪してくださいました。安全のために道路の雪掻きをして下さった多くの地域の方々、子どもたちの安全のために登校を見守ってくださっているの方々。数ある横浜市の学校の中でも、これだけ地域の方々に見守られている学校は数少ないのではないのでしょうか。本当にありがとうございました。

強い寒気の影響で、厳しい冷え込みとなった先週、横浜では氷点下2.7度まで下がり、22年ぶりの低温により、『低温注意報』が発令されました。路面や水道管の凍結などに注意しなくてはならないようですが、耳慣れない注意報で、横浜でまさかの現象に驚くと共に、もうすぐやってくる節分に、待ち遠しい春の訪れを感じています。

先日の「凧づくり・凧あげ大会」は、最高の天気恵まれ、今年も無事終わることができました。親切に教えてくださった指導者さんに感謝いたします。当日は、多くの保護者の方々にお越しいただき、子どもたちにとって貴重な体験となりました。

